

令和4年度 第2回 千曲市日本遺産推進協議会 会議録（要旨）

・開催日時・・・令和4年12月22日（木）午後1時30分～3時

・開催場所・・・千曲市役所 応接会議室

・出席者・・・別紙のとおり

・会議要旨

1 開会（副会長）

（進行：企画政策部長）

2 会長あいさつ

3 委嘱書交付

新たに委員となった方に委嘱書を交付（座席に配布）

4 自己紹介（新規委員）

・東日本旅客鉄道(株)長野支社

地域共創部地域連携ユニット ユニットリーダー 須田泰正様

・しなの鉄道(株)

代表取締役社長 土屋智則様（代理出席：石巻正士様）

・東日本高速道路(株)関東支社

長野管理事務所所長 金田和男様

5 議事（議事進行：会長）

委員人数報告 委員15名中13名出席2名委任状 規約第9条第3項により
会議成立

- (1) 令和4年度 事業進捗状況報告について
事務局より一括説明。【議案書P1～9】

【以下、質疑】

委員1

展示について、姨捨駅の他、姨捨SA下り線へも展示させて頂いていて、千曲市にある展示の中で一番見て頂いていると自負しています。

質問は、誘客について。駅はいろいろやっていただいているが、SAは徒歩でのご案内ができないということで展示を設置する時も案内図を作ろうとしたが少ないとい

うことで今後を期待する所です。

事務局

姨捨SAには昨年度展示を設置頂き、お客様からご覧になったという話もよく聞きます。SAから当方の展示までどうやってたどり着くのか、案内看板設置していく中で観光課とも協議しながら良いルートで回っていただけるような標識等検討していきたいと思う。

委員1

もう一つ。ネクスコは歩いてはいけないという規制があると聞いたが、いかがですか。

委員2 (ネクスコ)

ご指摘の通りで姨捨SAに関しては外部利用という形の物が今出来ていません。

只今会社全体としての施策で、オープンゲートと言って外から周辺住民が中の休憩施設を使えるようにという動きもあります。首都圏から行っていることで、これが長野県までくれば、オープンゲートの整備が出来て中にお入りいただくことが可能になります。その整備に合わせ協力出来ればと思っています。

委員3

色々説明ありがとうございます。

この中でどうしても、観光客へどうしたら情報が伝わるのかをいつも考える。

例えば先ほど見せてもらったVR、たぶん宿泊で来る観光客はその存在さえ知らないと思う。どんな形で知らせていくのか。満月ウォーキングやヨガとかも。

観光局の年4回作っている観光情報冊子はいつも内容に困っているので良いコンテンツがあればそういう冊子を活かしてはどうか。観月祭は必ず紹介していて他の事業も積極的にそういう冊子に載せることがたぶん一番観光客に伝えるツールになると思う。

観光客は、姨捨の棚田に関心があることが多い。ただ何処から棚田を見ればよいのか。ビューポイントの作成をいろいろ考えているようだが、その時に駐車場のことも考えてほしい。棚田内は車で入ろうと思えば行けるが、うちのお客さんで田んぼに落ちた人もいた。軽トラじゃないとお勧め出来ないと説明しているが。ビューポイントは車を止められるような形でお願いしたい。

また棚田に関して。10月に能登半島の千枚田に行ってきた。そこは残念なことに棚田の中で写真を撮ったりするような作りではなく、上から見るところだけだったが散策の人や自転車が通ったりするのは良かったと思った。反面、千枚田の場合、それこそビューポイントは道の駅程度の売店と食堂があり、お金が落とされる仕組みになっていた。日本遺産センターの来所人数や売上の数字があるが、まだまだ伸びしろはあるだろう。売店等は、どうしたらお金を落としてくれるのかと考えてしま

う。

ビューポイントの整備の中では、客が車を停める場所。棚田米は皆が買いたいと思っているし、棚田米で出来たおにぎり等の要望もあるので、それに答えられるようなビューポイントを考えて頂けたらと思う。

あと、告知の方もどうすれば目に触れるかということ。

旅館組合の立場から見るとそれが一番のポイントです。

事務局

ありがとうございます。

観光客の皆さんから、姨捨の棚田はどこから見るのが一番いいかとの問い合わせが結構来る。そういった時にビューポイントが既にあればいいなと正直思うが、県の事業と合わせて進めていくのでもう少しばかり時間はかかる。棚田の誘導等はきちんとしている。

棚田米については、日本遺産センターに置いてあり、10月11日は結構お土産で買って頂けた。売店については、商品を入替えたり、日本遺産関係のグッズを開発し作って行きたいと考えている。例えば外国人向けに浮世絵の手ぬぐいがあれば買って頂けるかと考えている。そういった色々な商品を置きセンターに少しでもお金落ちる仕組みになればいいと考えている。

観光誘客については、日本遺産の活用ということでは一番大事だと思う。だが「日本遺産」、それだけでは観光誘客は非常に難しい面もあるので、上田市等近隣の日本遺産と連携し色々な所へ行って日本遺産PRをしていきたいと考えている。

事務局

ビューポイントについて、今庁内で建設課を中心に打合せ中。委員3さんの言われたように駐車場の確保、バスも駐車出来るよう盛込んでいる。またトイレも景観に合う建物にと計画している。

また、棚田内に車で入ることは出来るが、脱輪等あるので農林課と相談し「進入ご遠慮ください」というような注意喚起の看板を設けるよう進めている。

先ほどの説明で忘れたが、看板については出来る限り早く、来年の観光シーズンに向けて準備を進めているのでよろしくお願いします。

委員1

ビューポイントの現場を見た。姨捨山、鏡台山、千曲川、善光寺平一望、そして棚田が綺麗に見えるので期待しています。慌てずしっかりしたものを作って頂きたい。

6. 協議事項

- (1) 令和5年度 事業計画（案）について
事務局より一括説明。【議案書P 1～9】

【以下、質疑】

委員 1

屋代高校の校長先生と天文班の先生と会ってきた。来年度は 100 周年。過去にやった田毎の月の鏡等様々な協力連携している中で、来年度、月の都、千曲市としてふさわしい屋代高校としてふさわしい事業を何かやりたいと言っていた。30 万の予算はあるが多くの団体や学校と協力して良い事業が出来るよう検討出来ればありがたい。

会長

ご意見ご提案ということでよろしいでしょうか。

委員 1

お願いしたいと思います。

委員 4

教育委員会でございます。子供たちにあそこが千曲市を上から眺め、自分たちの郷土を学べる場所になれば良いと思っている。センターの中にいろいろ展示物あるが、文字だけでなく音声や映像で 15 分位にまとめ流してはどうか。そんな企画や事業を取り入れて欲しい。子供には文字パンフレットは難しく映像なら即座にわかると思うのでご検討頂ければありがたい。

事務局

ありがとうございます。設置が遅れていて申し訳ありません。

現在、歴史文化財センターと秘書広報課にお願いして、学芸員が説明している YouTube の QR コードを読み込んで視聴するというようなのはどうかと進めていて、3 月までにはやりたいと思っています。教育長さんのイメージに近づけるかわからないが協力してやっています。

委員 3

3 番目のイルミネーション事業の場所は、ビューポイントから見える位置になるのですか。

事務局

場所は、田毎の月プロジェクト実行委員会と相談して決めていこうと考えています。姨捨駅から見えたら良いとのご意見があるので、ビューポイントからも見えるよう話し合い、どこが一番良い場所か相談しながら設置していきたいと考えています。

委員 3

現在の位置は観光客に紹介しやすい場所では無いので、もったいないと思う。

事務局

そうですね。姨捨駅からは全体が見えないと聞いています。一部は見えるよう設置してはもらってはいるが、ご意見を含め実行委員会と協議し、設置に最善の場所を見つけられれば良いと考えています。

委員 1

イルミネーションというともっと華美なものを感じる。ペットボタルを充実させるということでしょうか。

事務局

そういう考えで結構です。

会長

他になければ、令和5年度日本遺産推進事業計画は計画案をもとに進めていく事に異議はございませんか。

異議なしということで、これをもとに事業計画を進めてまいりたいと思います。

7. その他

事務局

今回集まっていたいただいたメンバーに観光局が入っていません。日本遺産は観光を目的にしているので、観光局との連携を密にしていきたい。

来年度から協議会のメンバーに入って事業を盛り上げて頂けるよう、規約等あると思うのでここで提案させていただきます。

会長

今事務局より信州千曲観光局の本会議への参画について説明がありました。本協議会規約第4条の改正が必要ということでそれもあわせて何かご質問等がございましたらお願いします。

特にご質問無いようでしたら先ほど申し上げた規約の改正、第4条に信州千曲観光局の参画を追加することを次回の議題案としたいがよろしいでしょうか。お認めいただけますでしょうか。

一同

異議なし。

会長

改正については、次回の協議会で改めて皆様に改正案として出させていただきます、そこで議決いただくということになりますので、よろしく願いいたします。

事務局

続きまして、もう一点お願いいたします。今日お配りした追加参考資料7番目の文化庁公表資料についてご説明させていただきます。

横版の図をご覧ください。文化庁では日本遺産水準の維持のため、これまでの成果や今後の取り組み計画の内容で日本遺産の認定をするかどうかの、審査をする評価制度を令和3年度から導入しています。

日本遺産の認定数が当初目標の100件を超えたことで、その総数を維持しつつ、認定取り消しと追加認定を行うこととしております。令和3年度には、日本遺産の候補地域として新たに3件が選ばれました。令和4年度は0件でした。

条件付の認定地域と、日本遺産の候補地域とが、文化資源の磨き上げを競い合って日本遺産全体の魅力向上に繋げる狙いとなっております

それでこのフロー図をご覧くださいと、図の左の赤線で囲われた箇所、こちらに地域活性化計画と書いてあり、重点支援期間と自律自走期間とあります。

これを千曲市に当てはめていただくと、この重点支援期間が令和2年度から4年で今年度までこの国庫補助があります。

その後の3年間の自律自走期間は来年度令和5年度から7年度まで。この3年間の自立自走期間となっております。

その令和7年度末にこの6年間の実績報告と次の3年間の地域活性化計画を文化庁に提出して、審査や評価を受ける形となっております。

1枚めくり、今年度令和4年度の評価対象の結果が一覧で出ております。こちらは平成28年度の日本遺産制度2年目に認定された19件ですが、そのうちの3件が重点支援地域、13件が認定地域で、残りの3件が条件付の認定地域となっております。

資料の次ページ以降に、条件付認定地域の評価理由などが記載してあるのでご覧いただければと思います。鎌倉市とシリアル型広域の新潟市や三条市などは、体制面での取り組みが不十分などの指摘があり、また奈良県の方は都市からの観光誘客に方策があるかということが課題のようで条件付認定地域になり、あの評価になってしまいました。

千曲市が評価対象となるのは令和7年度末で8年度の予定ですが、千曲市も認定取り消しや条件付認定地域にならないように、先ほどの認定された自治体の評価事例を参考にしながら、観光局に協議会に参画いただき緊密に連携をとって改めて日本遺産の取り組みを推進していきたいと考えております。

私からのこの資料の説明は以上でございます。

会長

事務局の説明が終わりました。今の点について何かご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

その他、何かご意見ご質問等ございますか。

委員 3

しなの鉄道さんとJRさんがいらっしゃるのをお聞きしたい。

何かのコラボレーション、姨捨駅の利用、「ろくもん」が入るとかそういう予定とかありますか。

委員 5

しなの鉄道でございます。

今資料を手元に持ってきてないので、社の方へ戻りまして、確認させていただければと思います。

委員 6

JR 東日本でございます。

姨捨駅を使ってということだと、もちろんイベント的なものもあるのですが、一方でイベント的なものを行った場合、駅の周辺にいわゆる写真撮影のお客様で非常に混雑し地域の方にご迷惑をかけてしまうこともありますので、ここは一長一短かなと考えています。

今後の評価ということを考えて、いわゆる持続性、なるべくまんべんなくお客様に姨捨の棚田を訪れていただけるような、そういう仕組み作りといったものも大切かと思っておりますので、引き続き次年度につきましても、「ナイトビュー姨捨」のような列車、あるいは「リゾートビューふるさと」の姨捨駅での長時間停車といったものについては引き続き実施をして、どこか1日だけとかではなく、なるべく多くの期間でお客様に姨捨を楽しんでいただけるように。

委員3さんも先ほどおっしゃったように、いかに情報をお客様に届けるかといったところも大切になってきますので、そういった情報発信についても引き続き弊社としても取り組んでまいりますので、ぜひ様々な面でご協力いただければと思います。

よろしく願いいたします。

会長

ありがとうございました。

他に何かございますでしょうか。

他にございませんようでしたら、以上をもちまして会議を終了させていただき、議

長を退任させていただきます。
ご協力ありがとうございました。

8. 閉会（副会長）